

市道長野中央通り（大門町上）車道石畳舗装修繕工事について

1 経緯

- 平成 8 年
車道を含む修景事業、完成（県道として整備）。その後、市道に移管
- 平成 28 年 10 月
大門町区、大門町上商店街協同組合より、敷石の破損の進行等を理由に現在の車道敷石を中央通り歩行者優先化事業と同等品かつ新工法に変更するよう市長に要望
- 平成 29 年 9 月
補修工事の参考にするため、市より第二地区住民自治協議会に対し、車道石畳の色について照会
- 平成 29 年 9 月
大門町上区、大門町上商店街協同組合が、住民等に対し車道石畳の色についてアンケートを実施
 - * 現在の車道と同じ色（黒色） … 8 件
 - * 現在の歩道と同じ色（桜色） … 24 件
- 平成 29 年 11 月
大門町上区、大門町上商店街協同組合より、アンケートに基づき石畳の色について市へ回答
現在の歩道石畳に近い色彩の石畳により、大型車の通行に耐えうる耐久性に優れた工法による補修工事を改めて要望

2 景観計画における配慮

- 当該車道は、景観計画で景観重要公共施設に指定しているため、担当課から協議申出あり。
- 改定景観計画では、修繕及び整備の際は、整備当初のデザインを維持するよう配慮すると記載
- 景観重要公共施設の整備について、同施設の中でも特に景観上重要な箇所であると判断し、景観審議会の意見を参考に担当課と協議する。

3 主な修繕計画内容

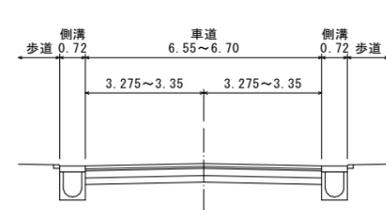
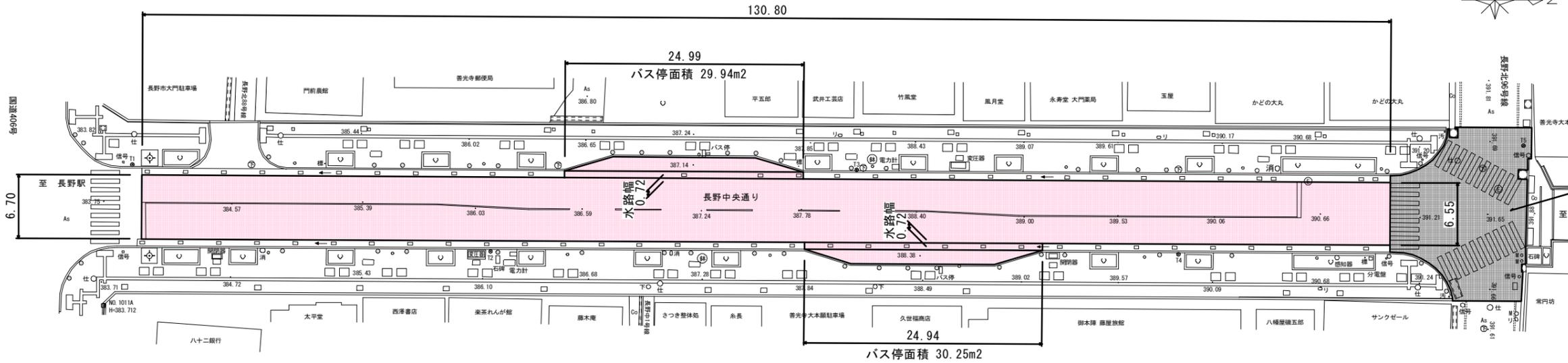
- (1) 歩行者優先化事業（新田町交差点～大門町交差点）と同等の工法及び石材による石畳舗装とする。
- (2) 石畳の石張り方向は、横張りから縦張りに変更する。
- (3) 善光寺交差点（平面図 黒ハッチ部分）を大型車通行による破損対策として、現在の石畳舗装からアスファルト舗装とする（これまでの協議により地元了承済み）。

4 審議依頼内容

- 上記 3-(1)、(2)について、景観審議会に意見を求めるもの

平面図 S=1:250

横断図 S=1:100



- A=208.22m²
- ① 車道幅員 W=6.55~6.70m
 - ② 石畳舗装延長 L=130.80m
 - ③ 石畳舗装面積(車道) A=866.55m²
 - ④ 石畳舗装面積(バス停) A=60.19m²
 - ⑤ 半たわみ性舗装面積 A=208.22m²
 - ⑥ 側溝上部修繕延長 L=249.93m(A=35.95m²)
- ※ 上記数値は斜距離換算をしていない値である。

<起点付近>
現況

<中間付近>
現況

<終点付近>
現況



計画

計画

計画



平成30年度 長野中央通り大門 石畳地形測量業務委託(仮)			
平面図	縮尺	図示	
長野中央通り			
長野市 長野大門町			
課長	係長		
調査	設計	製図	測量設計
図面番号 業中之			
長野市役所			

中央通り歩行者優先化事業



中央通り 大門町上区間



中央通り 善光寺交差点



大門町上から大門町南

